

# 徳島県総合計画審議会 若者クリエイイト部会 若者からの提案

## ～ 6. まなびの邦・育みとくしま ～

福島 明子・釋子 由香梨

徳島県総合計画審議会 若者クリエイイト部会 基本目標6

### はじめに

忘れることはない東日本大震災や、リーマンショックに端を発した世界的な経済不況など、多様な困難を経験している。

↓  
そこで、

我々若者は、現状の何を問題視し、不安に思い、何を希望とし、将来の徳島がどのようなものであることを望んでいるのか、さらに、そのためにどのような取組を必要としているか、ということ改めて考える。

↓  
さらに、

### 目的

「まなび」と「教育」に関して、徳島が目指すべき将来像とそれを実現させるための施策の提案を行う。

「徳島の将来あるべき姿」の提案



そして

「実現させるための施策」の提案



ライフステージ毎に提案を行う。

## 将来あるべき姿(1)

### 幼稚園・小学校の児童・生徒は？

#### ① 子どもらしい、おもてなしの心を育んでいる

観光地の中には今もその地を訪れると子どもたちが元気にあいさつをしてくれる地域がある。これは立派なおもてなしである。また、地域の魅力を伝えられる子どもたちの育成。これにより、地域内外への地域の魅力発信につながるとともに、地域への愛着と誇りの醸成にもつながることが期待できる。徳島の子どもたちも、そうである。

#### ② 子どもたちが地域での遊びや活動に積極的に参加し、郷土愛を育んでいる

人とのつながりが希薄になりつつある現代において、特に子どもたちが育っていく地域の中で、子どもたちが、伸び伸びと健やかに育つため、地域との関わりを持ち、幅広い年代の人と交流している。

#### ③ 農林水産業の体験をしたことがあり、その楽しさと苦勞を知っている

徳島の基幹産業である農業を中心に、農林水産業に関して、生産や漁獲から流通までの一連の流れを体験、学習することにより、地域を支えている産業について理解している。ただ楽しいという体験だけではなく、苦勞も同時に学ぶことにより、日々の生活における安全、食と自然の重要性や感謝の気持ちを育んでいる。

## 講じるべき施策(1)

### 幼稚園・小学校の児童・生徒は？

- ① 幼稚園・小学校における「みーんなで、おもてなし！会」の開催**  
児童・生徒が身につけられる「おもてなしの心」について学び実践する会を県内すべての幼稚園・小学校で開催する。そのサポートを地域全体で行う。
- ② 「とっくしまっ子！地域のお祭リスキスキ！」イベントの開催・環境整備**  
地域のお祭りや行事などに、子どもたちが積極的に参加し、楽しむことができるように、子どもたち目線での楽しい演目の追加、行事の開催を行う。
- ③ 「農業・林業・水産業！みーんなが知っているよ！徳島！」の開催**  
現状での取り組みをベースにその体験内容を充実させると共に回数を増加させる。これを県内すべての幼稚園・小学校で実施する。



5

## 将来あるべき姿(2)

### 中学校・高校(・小学校)の生徒は？

- ① おもてなしの心を育てている**  
幼稚園・小学校の児童生徒と同様に、中学校・高校の生徒においても、地域の魅力を伝えられる子どもたちの育成。これにより、地域内外への地域の魅力発信につながるとともに、地域への愛着と誇りの醸成にもつながることが期待できる。(先述と同様)
- ② 小中高生が地域貢献を実践するための知識を有し、活躍の場がある**  
今学んでいることが、果たしてどのようなことに役に立つのかということを知らずに学ぶより、知って学ぶほうが、より効果的に、また、楽しく、将来を見据えて学習することができる。それが実現され、学習意欲の高い子どもたちが多い。さらに、それぞれの能力・個性を発揮した活躍をしている。
- ③ 国際的に活躍する子どもたちが多い**  
徳島にいながらにして国際的に活躍をする子ども、また、徳島を飛び出し、国際的に活躍をする子どもが多く存在する。



## 講じるべき施策(2)



### 中学校・高校(・小学校)の生徒は？

#### ①「〇〇市(町・村)マイスター！」「とくしマイスター！」の認定

各市町村のことを学習し、その検定試験に合格した中学生や高校生にマイスターの称号を与える。徳島県についても同様。(認定のための学習・試験の作成が必要 ... 『働いている人・高齢者は？』の欄を参照)マイスター！とマイスター！先生の交流も盛ん。

#### ②-1「徳島！本気！職場体験！」の実施

職場体験においても、数時間ではなく、何日間かに渡り、職場での職業体験を実施する。そのために、受け入れ企業・団体の募集を行い、職場体験を実践する。

#### ②-2「徳島の仕事のことまるわかり辞典」の制作・提供

1人の生徒が多くの業種の職場体験、職業体験をすることは非常に困難であると考えられるため、農林水産業を含む、より多くの地元企業・団体の仕事について理解することができるように、テキストや映像の制作を行い、提供する。

#### ③「東新町西新町・徳島の交流街」をつくり、盛り上げる

国際的に活躍する人材育成のため、基礎的項目として、まずは、他国の言葉や文化を理解するために、空き店舗やボードウォークを利用し、さまざまな国籍の人たちが交流できる場を設け、イベントを開催する。また、その参加を促進する。

7



## 将来あるべき姿(3)

### 特別支援学校の児童・生徒は？

#### ①個性を光らせ、自ら発信できている

地域全体で特別支援学校のこと、互いの児童生徒のことを理解していることを前提に、幼小中高の児童生徒たちが、互いに互いを理解し、個性を活かしている。そして、協働の取組をしている。大学・専門学校等でもその体制が整っている。

※「幼小中高の児童生徒は？」に加え、上記のことを実現する。

## 講じるべき施策(3)

### 特別支援学校の児童・生徒は？

#### ① 「徳島の若者、この人！この取組！知ってね☆キャンペーン！」の実施

特別支援学校に通う児童生徒、幼小中高校に通う児童生徒が、お互いにお互いのことを理解し、さらに、個性や能力を認めた上で、徳島の若者ではこの人！、この取組！と徳島の光を互いに見出すことができる教育(交流)を実施する。協働の取組を実施する。それを前提に、若者たちが交流できる場を創出し、それぞれの意見を聴き、それを発信できるシステムを構築する。高等教育機関でも同様である。



9

## 将来あるべき姿(4)

### 大学・専門学校など高等教育機関の学生は？

#### ① 自らが主役・主取組であることを認識し、それらを活かすことができている

学んでいること、取り巻いている環境を理解した上で、徳島の未来は自らが担うことを認識している。さらに、学んでいる専門知識を活かし、徳島の持続可能な発展のためにすべきことを理解し、実践している。

#### ② 文系・理系の別なく、それぞれの学びに自信を持ち世界で活躍している

現在学び研究していることは、それぞれにとって専門であり、それぞれ一番理解し発展させていくことができるものであるとの認識と自信を持ち、世界で活躍している。

## 講じるべき施策(4)

### 大学・専門学校など高等教育機関の学生は？

#### ①・②「トクシマ若手専門家からの発信！ みんなでトクシマSHOW！」の実施

全国に先駆けて、多様な分野の若手研究者・学習者が、入り交じり、自らの研究学習成果を一堂に発表できる場を創出する。また、その会をコーディネートできる人材の育成と場の創出を行う。これにより、課題発見・解決、コミュニケーション、コーディネート、企画、など多岐に渡る能力を養成することができる。このとき、各研究分野の専門家の先生とのディスカッションについても、その機会を提供する。



11

## 将来あるべき姿(5)

### 働いている人・高齢者は？

#### ① 地域の大人が地元市町村や徳島県をよく理解し、子どもたちに伝えられる

現在なされている「とくしま学博士」認定に倣い、地元地域について、その歴史、文化、自然、地理を理解した上で、地域の子どもたちに伝えることができている。

#### ② 学びたいときに学びたいことを学びたいだけ学ぶことができている

徳島県民が欲する学びに対して、それらを包含した学びが提供されている。学ぶ側はそれらを、いつでもどこでも学ぶことができている。



## 講じるべき施策(5)

### 働いている人・高齢者は？

#### ① 「〇〇市(町・村)マイスター！先生」「とくしまマイスター！先生」の育成

子どもたちに地域のことを教えるために、現状の「とくしま学博士」認定者で構成されるマイスター先生を育成する。また、マイスター先生は、子どもたちへの教育に加え、マイスター検定の問題の作成等も行う。

さらに、マイスター！先生については、既存の認定について、その分野や階級を細分化する。つまり、「〇〇分野・おじいちゃんの知恵マイスター！先生」や「〇〇分野・お姉さんマイスター！先生」、「〇〇分野！専門家マイスター！先生！」など、それぞれが得意とする分野で、さらに、その知識や知恵の範疇で、自ら申請区分を選択し、「マイスター！先生」となる。

#### ② 「徳島学び発信BOX」の提供

県民の学びへのニーズを把握するシステムの構築をする。さらに、それを可能な範囲で学びたいときに学ぶことができるように、学びに関するテキストや映像を作成する。それとともに、既に存在しているページの紹介などを行うような、情報の発信を、これまでに整備されてきたブロードバンド環境を活かし、まとめ、提供する。

13

## 将来あるべき姿(6)

### みんなは？地域社会は？

#### ① 健康的な人で溢れている

糖尿病や肥満など、健康について課題を抱えておらず、健康な社会を実現。

#### ② みんなが地域社会と関わり、いきいきとした生活を送っている

ニートやフリーターが大幅に減少し、学校や会社など社会で活躍する。また、特にインターネットなどを通じた、いじめや犯罪のない社会を実現している。

#### ③ 地域で取り組む・地域から学ぶ社会の実現

企業、地域、家庭、学校等が一体となり子どもを育てている。また、地域住民が、地域から学び、魅力等を発信している。

#### ④ 家庭教育充実のための環境整備ができている

家庭での教育が充実している。学校等に頼りすぎない躰、教育ができている。

14

## 講じるべき施策(6)-1

### みんなは？地域社会は？

#### ①「健康やけん！」の宣言とそれに係るイベントの開催

全国と比較して現状で深刻である糖尿病などの健康被害のない社会を実現するために、まずは意識づけとして、「健康やけん(県)！」を宣言する。また、現在行われている、とくしまマラソンやセンチュリーランなどのイベントを強化する。団体の表彰制度などを設ける。さらに、他の健康増進イベントを開催する。

#### ②「ネットの弊害、先進的に解決するけん！」の宣言とそれに係る教育の充実

世界的に抱えているインターネットなどによるいじめや犯罪、さらに、ニートやフリーターの問題について、先進的に解決するために、幼少期から上記のような取組を講じ、思いやりの心の醸成、地域と協同しての取組の充実を図る。また、「ネットの弊害、先進的に解決するけん(県)！」を宣言し、ブロードバンド環境の先進地域としての誇りを持った上で、ネット環境を駆使した弊害について、先進的にその課題に取り組む心の醸成を図る。いじめや犯罪については、その卑劣さを教育するとともに、それらを見守り注意できるような社会の醸成を図る。



15

## 講じるべき施策(6)-2

### みんなは？地域社会は？

#### ③・④「地域が先生」をモチベーションに地域一丸となった教育の実施

地域一丸となって、教育し、学ぶことができる社会の醸成のため、上記のように、様々な立場の人が地域と関わることを提供できる機会を提供する。また、家庭教育充実のために、「お父さん・お母さんサポートします！」といった親世代が親としてすべきことを学ぶことができる機会を提供する。



## おわりに

徳島に残り、または、徳島を起点として(心が徳島を起点としていることも含め)活躍し、輝く人材の育成・社会の醸成のために、どのような取組が必要であるかを検討した。

他のメンバーの提案と併せ、我々の提案が今後の徳島の持続可能で先進的な発展の一助になることを願う。



## その他の資料

「まなびの邦・育みとくしま」の現状での課題は？



## 「まなびの邦・育みとくしま」の現状での課題

### ① まなびの礎づくりとくしま

- ・ 国際的に活躍する人材の育成？ ICTを活用した人材の育成？

世界で活躍する人材の育成に不可欠なのは、まずは生まれ育った地域のこと、日本のことを知ること。英語や他国の言語をしゃべられるようになること。さらに、ICTについては環境としての恩恵は受けているけれど、本当にICTを活用できているか？

徳島県の一部の大学生、高校生とお話しをする限り（日本国内、どこもそうかも知れない）、外国語への苦手意識をもっている子が多く存在する。さらに、国外の人に比べ、歴史を含め地域のことを知らない人が多い。ICTに関しても、利用はしているものの、その仕組みを知り、活用できている人が少ないのではないか？



## 「まなびの邦・育みとくしま」の現状での課題

### ② 個性尊重とくしまづくり

・ 我々地域住民が、障がいのこと、子どもたちのことを理解しているか？

障がいとはどういうものか？障がいのある人と関わることがあるか？もしかすると正しく理解しておらず、障がいのある人と関わる人がない人が多いのではないか？自ら機会を求めないと、理解すらも出来ないのではないか？

## 「まなびの邦・育みとくしま」の現状での課題

### ③ みんなのまなびやとくしまづくり

・ 子どもたちの社会性の形成

子どもたち昔と比較して、社会性を形成することが困難なのではないか？核家族化が叫ばれて久しいが、近年では地域環境の変化から、隣のお家の人のことを知らない場合も多く、近所の人ですら関わるのが拒まれる時代になっているのではないか。このような現状下で、子どもたちが社会性を身につけることは以前と比較して、困難であるのではないか？

## 「まなびの邦・育みとくしま」の現状での課題

### ④ 生涯まなびとくしまづくり

・学びの機会は格段に増えている。問題があるなら、その提供の仕方か？

誰でもいつでもという訳にはいかない。公的、私的、どちらをとっても、人が学ぶということについては、その機会は格段に増加している。ICTを活用するとともに、実際に体験すること人と触れ合うことも忘れず、学ぶ機会の維持に努める必要があるのではないか？

## 「まなびの邦・育みとくしま」の現状での課題

### ⑤ 青少年健全育成とくしまづくり

・地域ぐるみで子育てをする環境がなくなってきている。

③の問題と同様に、周りの大人が子どもたちと関わるのが難しくなっているのではないか。犯罪など、近隣の住民であるとはいえ、信頼することができない状況になっているのではないか？

着目したい項目・必要な項目って何だろう？



## 着目したい項目・必要な項目って何だろう？

### 1. 地域貢献をしたい若者の増大！

東日本大震災以降、また、NPOが果たしている役割の広がりによって、近年、地域や社会に貢献できることを求めている若者が増加していると言われている。このような状況下で、若者のみならず、多様な世代が協同して時代に応じた活躍の場を検討し、創出することが求められる。厚生労働省（平成25年版 厚生労働白書 若者の意識を探る【概要】）によると、若者の意識は次のようであるとまとめている。「働く目的は、経済的豊かさよりも楽しく生活することを重視。会社の選択に際しては、能力・個性の発揮を求め、長期雇用の下でのキャリア形成を志向している。」

<http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/13-1/dl/gaiyou.pdf>



## 着目したい項目・必要な項目って何だろう？

### 2. 職場体験や地域社会との関わりで、 今の学習がどのように生きるのかを学びたい！

今、学校で学んでいることが将来何の役に立つのかを学ぶことは、学習段階、発達段階において非常に大きな意味を持つ。そのため、地域社会で活躍するにあたってのキャリア教育が求められる。文部科学省においても、職場体験などの必要性を訴えるとともに、キャリア教育についても多くの取組を行うことを推奨している。

徳島県においても、徳島県立総合教育センターを始めとする様々な取組がなされている。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/career/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/index.htm)

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/career/05010502/026/001/001.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/05010502/026/001/001.htm)



27

## 着目したい項目・必要な項目って何だろう？

### 3. 社会人でも学びたい！でもその環境は？

日本でも一般的になっている生涯学習について、社会人が仕事の時間以外で学ぶ機会は以前と比較して増加していると考えられる。文部科学省においては、中央教育審議会生涯学習分科会が開催されるなど、その議論がなされているところであるが、今の社会を考えたとき、先述のように、大まかには次の2点を考慮したい。1つ目は、ICTを活用すること、2つ目は、人と人との交流や体験を積極的に行える環境を整えることである。

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo2/toushin/1330378.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo2/toushin/1330378.htm)



28

## 着目したい項目・必要な項目って何だろう？

### 4. SNS等を利用したいじめ問題・犯罪の増加

一般的には情報を受ける側であった国民が、気軽に発信する側にもなれる昨今、SNS等を通じた、いじめ問題や犯罪の事例は、枚挙にいとまがない。また、地域住民が子どもたちに関心を寄せる余裕がなくなる、関わると逆に不振に思われるなどの時代背景を基に、「見守り」ができなくなりつつあることも、これに拍車をかけているのではないかな？

総務省においても、この深刻さを問題視しており、注意を呼びかけている。

[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/kyouiku\\_jo\\_ho-ka/trouble\\_jirei.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_jo_ho-ka/trouble_jirei.html)



## 着目したい項目・必要な項目って何だろう？

### 5. 社会と関わるのがコワイ？働きたくない？

ニートやフリーターの若者が増加している。働き手が減少していくため、産業の活性化にとってマイナスの影響が出る。さらに、働かないことで、収入も多くななく、これは結婚にとってマイナスの影響があるといわれている。人口減少にもつながっていく。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/01/tp0127-2/12.html>

また、内閣府の「平成25年版 子ども若者白書(全体版)」の「第2節 若者無業者、フリーター、ひきこもり」によると、その理由としては、「職場や大学に馴染めなかった」「小中高の不登校」などが挙げられている。非常に深刻な問題である。

<http://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/h25honpen/index.html>

相まって、コミュニケーションを取ることに抵抗を感じている人が増加してきている。



## 着目したい項目・必要な項目って何だろう？

### 6. 地域で能力を活かすことができる場がない？

人口減少やリーマンショックに端を発した経済不況の影響もあり、特に地方では雇用の場の不足がみられている。一方で、雇用政策を取り巻く状況も近年変化している。2007年の改正雇用対策法や2003年の職業安定法の改正などを機に、これまで国が行っていた雇用対策の権限委譲が進み始めた。

雇用の不足は、生まれ育った地域や魅力のある住みたい地域で、能力を発揮したくてもできない、生活をしていけないということから、地域からの人口流出を加速させ、人口流入を抑制させてしまっている可能性がある。